



## コロナワクチン接種

オリンピックが開催されている中ですが、国内感染者の数は依然として高い数字であり、特にワクチン接種率がまだ低い、50代以下に多い傾向にあります。一方で、ワクチン接種率が高くなってきた高齢者の重症患者数は抑え込みにある程度成功しているとも言えます。ワクチン安定供給に課題があるものの時間の経過とともに接種率が上がってくれば、**感染者数は多くても重症者数は落ち着いていく**と思われれます。

## 副反応の実態

「日本の眼科」6月号に井上眼科病院の医療従事者ワクチン接種の副反応の状況が、井上賢治先生から報告されております。592名のワクチン接種を行い574名から副反応の有無についてアンケートで回答を得ています。紙面の関係上、ポイントを以下にまとめます。

副反応が出現したのは1回目で**88%**、2回目で**93%**でした。多い順に疼痛→倦怠感→発熱→頭痛→関節痛→筋肉痛→寒気→腫脹→発赤→嘔気

- 全ての副反応について男性よりも**女性の方が多い**。
- **20代**が最も副反応の出現率が多かった。
- 副反応出現率は30-50代でほぼ同等で、60歳以上で少なかった。
- ワクチン2回目接種の副反応で欠勤した職員は1回目で6名（1%）2回目で35名（6.2%）であった。
- 欠勤に至った職員の副反応は多い順に**発熱**（37.5-39°C）、倦怠感、頭痛、関節痛の順であった。
- 発熱は接種2日後まで続き、3日目になると改善した。

このワクチンについては、女性の方が、副反応が出やすく、特に20代の若い女性は、反応が強く、翌日の仕事などへの影響を考慮して接種日を決定した方がよさそうです。解熱剤などの投与も有効なようですので、女性は解熱鎮痛剤を接種後は服用した方がよいのかもしれませんが。